

香川ダルクフォーラム

テーマ「DARC とは？」～仲間の多様性と居場所～

依存症は、別名「ゆっくりとした自殺」と言われており、薬物・アルコール依存症者が生きている間に自殺念慮を経験する率は8割、また生涯での自殺企図率は5割を越えています。

この依存症という病気から回復する事を目的とした「DARC」(ダルク)は、1985年に日本で初めて創設された民間の薬物依存症のリハビリ施設の事です。

香川ダルクは平成23年12月に、香川ダルク女性ハウスは平成27年7月にそれぞれ設立され、「依存症」という病気に苦しむ当事者を受け入れ、リハビリプログラムの提供と共同生活による生活訓練を通して回復の手助けを行ってきました。

現在、香川ダルク、香川ダルク女性ハウスには、薬物・アルコール依存症の仲間だけではなく、**ギャンブル・摂食障害(過食、拒食、食べ吐き)・クレプトマニア(万引きが止まらない病気)・買い物・ゲーム・インターネット(スマホ)**など様々な依存症を持つ仲間が集い、共に地域の中で回復のプログラムに取り組んでいます。

今回のフォーラムでは、テーマを「DARC とは？」とし、多様化する依存症という病気、そして仲間達の居場所を取り上げた内容となっています。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時：令和元年12月21日(土)13時30分～17時(13時開場)

会場：サンメッセ香川(2階 中会議室)

住所：香川県高松市林町2217-1 (TEL:087-869-3333)

参加費：無料(どなたでもご参加いただけます)



～フォーラムの主なプログラム～(予定)

・講師講演

精神科医 よしだ せいじ 吉田 精次 氏 (藍里病院 副院長、あいざと依存症研究所 所長)

岐阜ダルク 代表 とよやま かおり 遠山 香 氏

・仲間の話

薬物・アルコール・ギャンブル依存症、クレプトマニア(万引きが止まらない病気)、摂食障害の当事者の話

・家族の話

依存症家族会「メリーゲート」のメンバーによる体験談

・パネルディスカッション



～会場へのアクセス～

【お車でお越しの方】

・高松中央ICより、車で約5分

※駐車場多数あり

【高松駅からのアクセス】

・路線バス<JR 高松駅～サンメッセ香川>

約30分(440円)

※高松駅バスターミナル(8番乗り場)より「サンメッセ・川島・西植

田線」にご乗車ください。「サンメッセ香川」バス停にて降車ください。

(主催) 香川ダルク

(お問合せ) 香川ダルク代表 村上 亨 (TEL) 080-3994-4173

(Mail) kagawadarc@ybb.ne.jp